

岩手山の火山活動解説資料（平成 28 年 9 月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1、図 2-①）

柏台に設置している遠望カメラによる観測では、岩手山山頂、大地獄谷及び黒倉山山頂の噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2-②～④、図 3、図 5）

21 日 08 時 19 分に岩手山山頂の西約 10km、深さ約 3 kmを震源とするマグニチュード¹⁾ 2.5 の地震が発生しました。気象庁が震度情報の発表に使用する震度計では、震度 1 以上を観測した地点はありませんでしたが、地元より揺れを感じたとの通報がありました。この地震の前後で、地震活動に変化はありませんでした。

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 4、図 7）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

1) マグニチュードは地震の規模を示します。

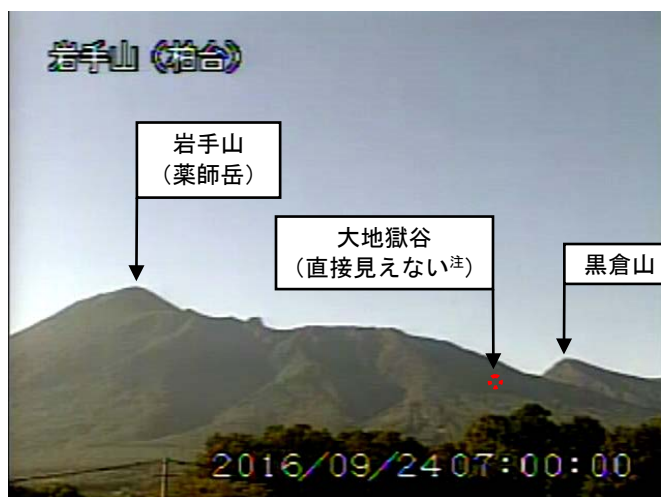


図 1 岩手山 黒倉山の噴気の状況（9 月 24 日）

・柏台（黒倉山山頂の北約 8 km）に設置している遠望カメラの映像です。

注）大地獄谷から噴気が出た場合、柏台では高さ 200m 以上のときに観測されます。
点線赤丸が大地獄谷の位置を示します。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 28 年 10 月分）は平成 28 年 11 月 9 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

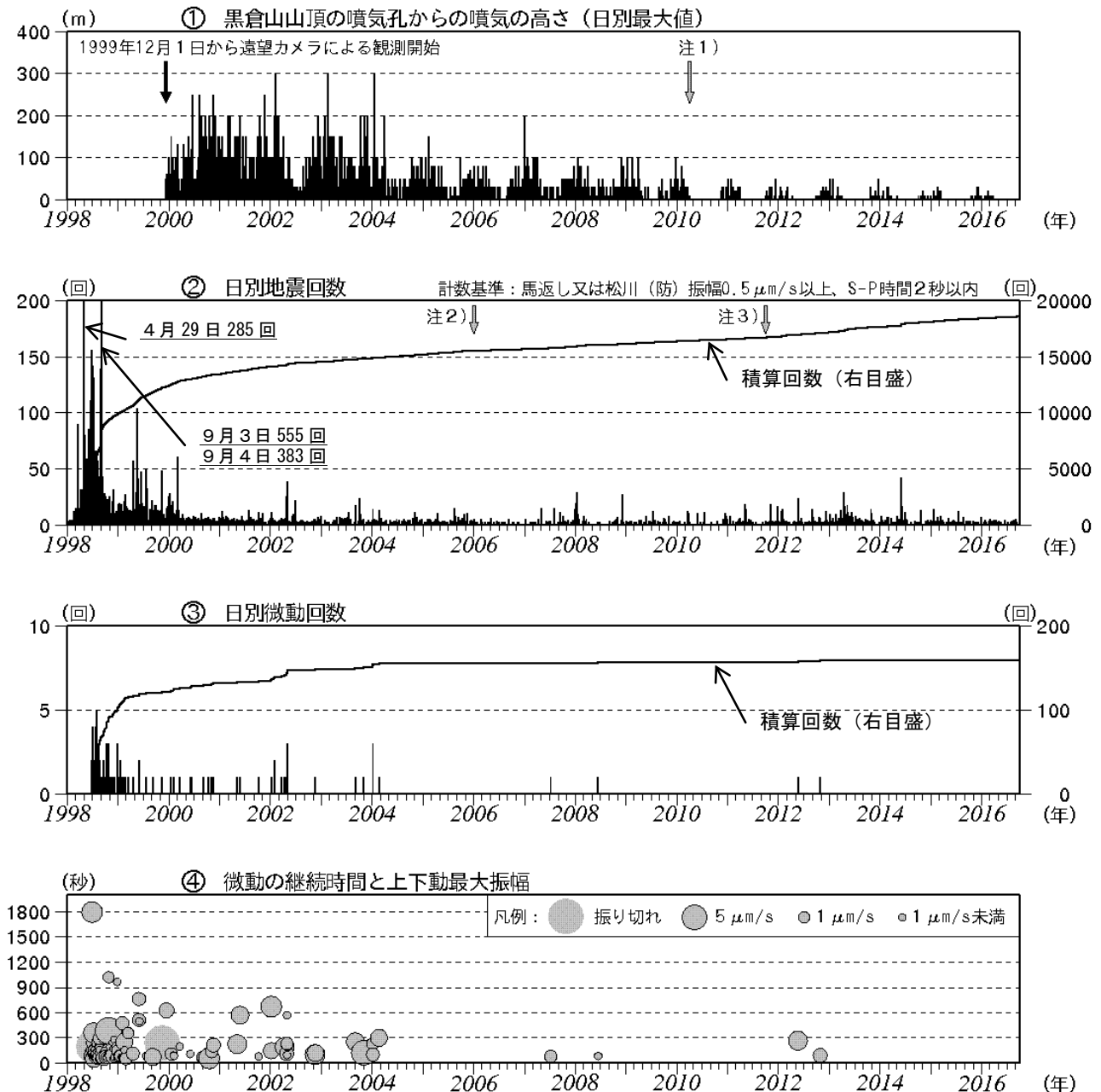


図2 岩手山 火山活動経過図（1998年1月～2016年9月）

- ・①注1) 2010年3月までは黒倉山のための観測値を、2010年4月1日以降は岩手山全体の観測値を示しています。
- ・②～④基準観測点の変更は次のとおりです。
 観測開始 1998年1月1日～東北大学松川観測点
 注2) 2006年1月1日～焼切沢観測点
 注3) 2011年10月1日～馬返し観測点及び防災科学技術研究所松川観測点
- ・②2000年1月以降は滝ノ上付近の地震など山体以外の地震を除外した回数です。
 （1998年から1999年までは滝ノ上付近の地震など山体以外の地震を含みます）

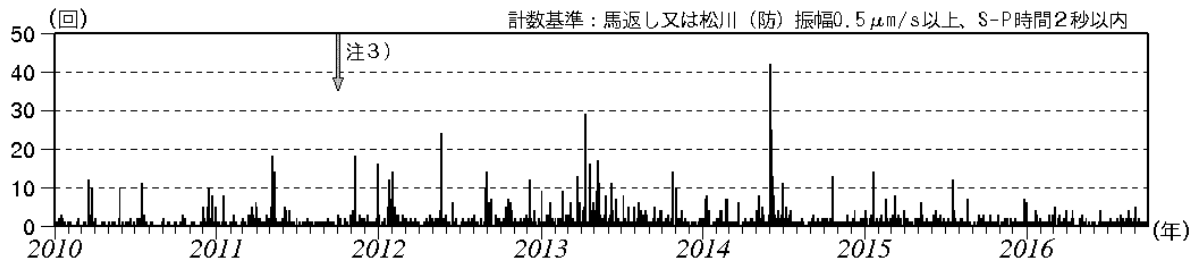


図3 岩手山 日別地震回数（2010年1月～2016年9月）

・基準観測点の変更は図2に同じです。

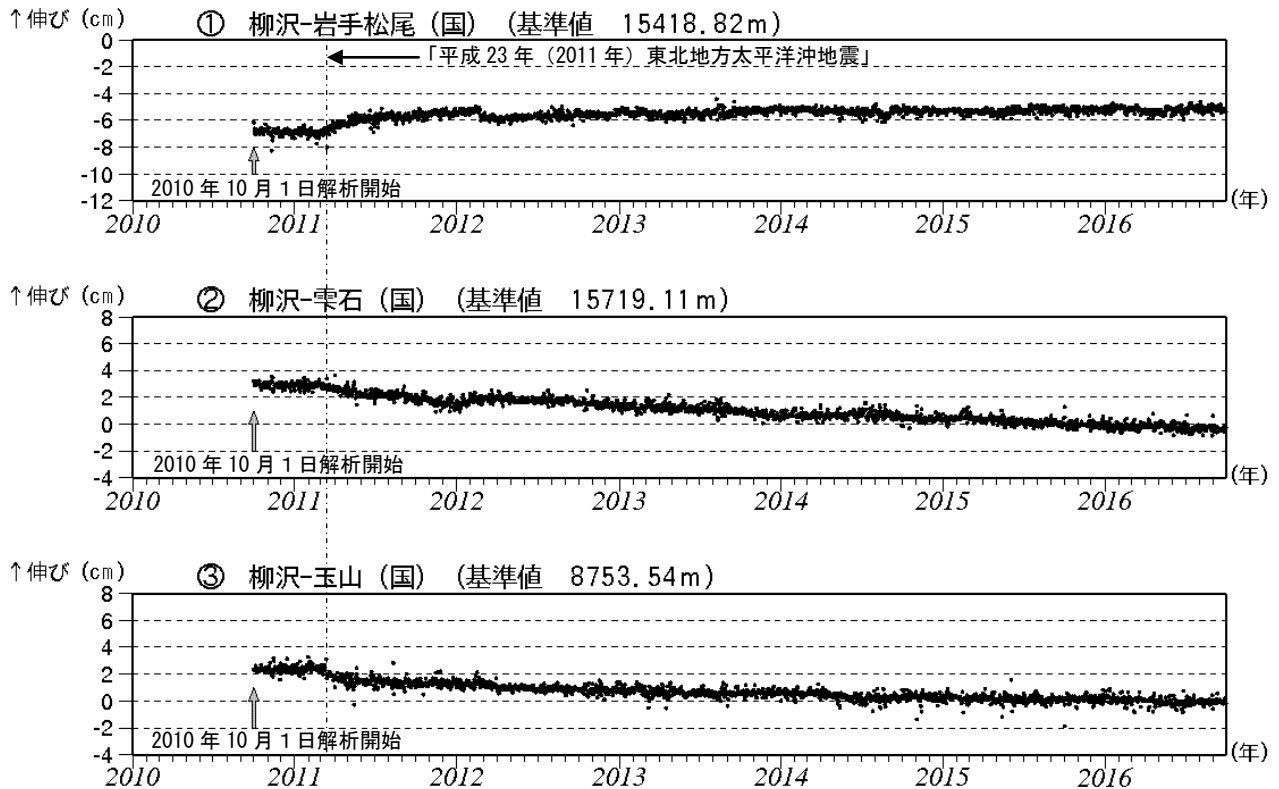


図4 岩手山 GNSS²⁾ 基線長変化図（2010年10月～2016年9月）

2) GNSSとはGlobal Navigation Satellite Systemsの略称で、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示します。

- ・「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・①～③は図7のGNSS基線①～③に対応しています。
- ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
- ・（国）は国土地理院の観測点を示します。

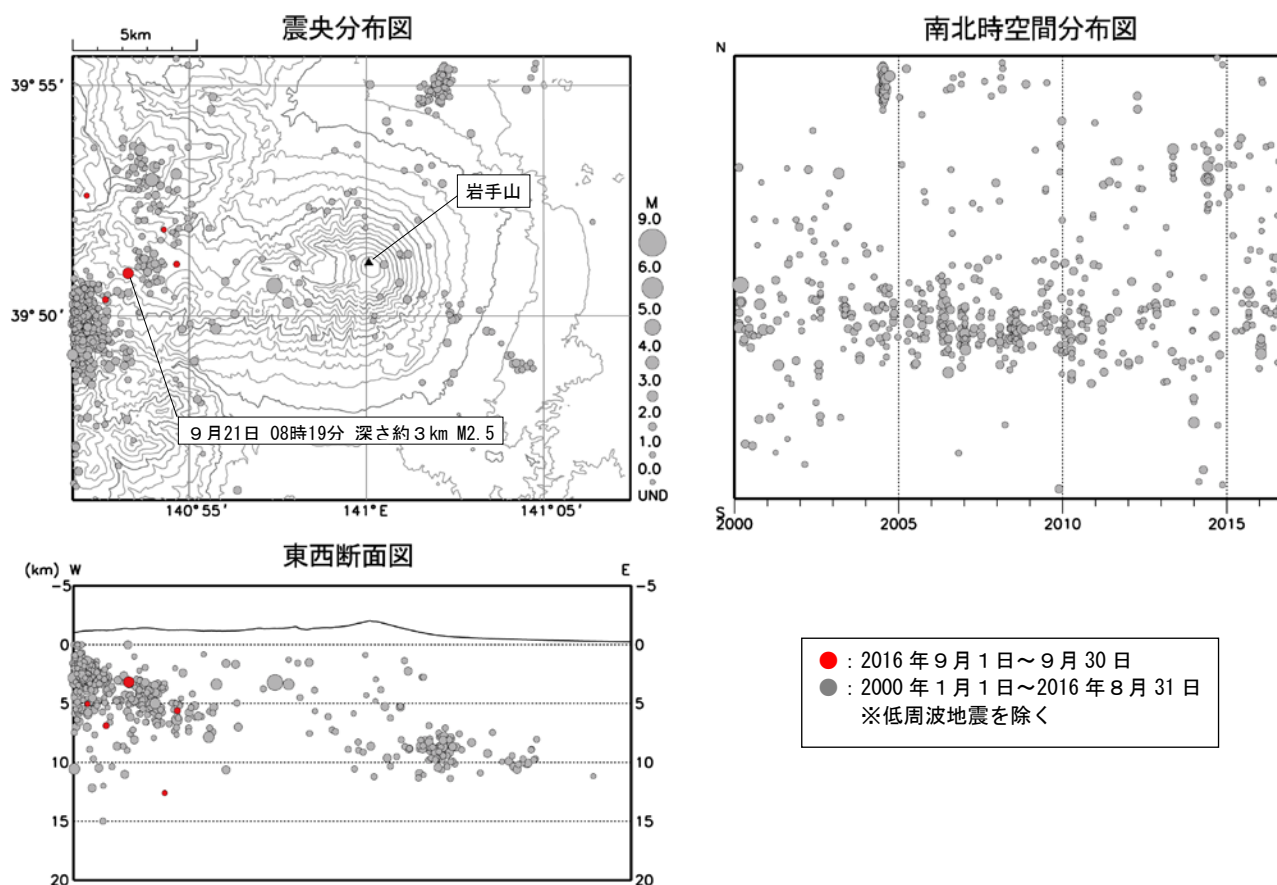


図5 岩手山 広域地震観測網による岩手山周辺の地震活動（2000 年 1 月～2016 年 9 月）

・ M（マグニチュード）は地震の規模を示します。

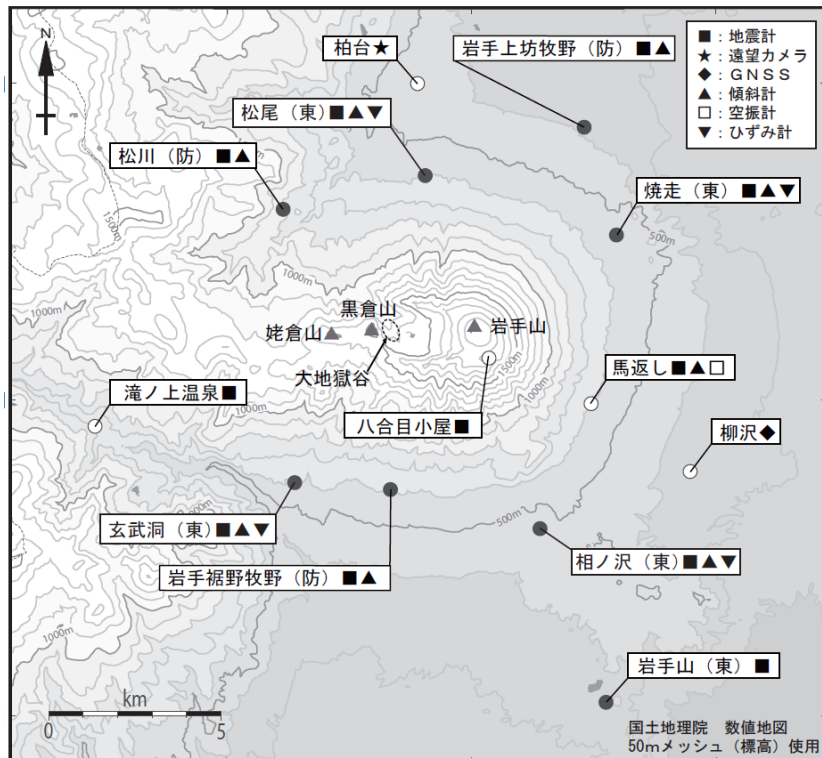


図 6 岩手山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学 （防）：防災科学技術研究所

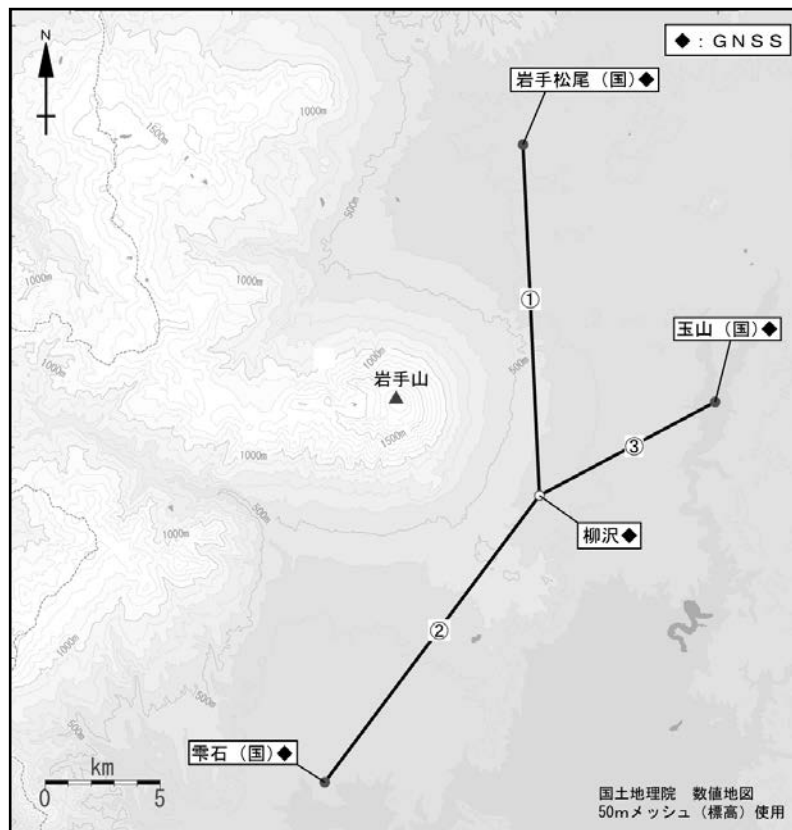


図 7 岩手山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院